
死ぬ前に

半沢良

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死ぬ前に

【ZPDF】

Z0361W

【作者名】

半沢良

【あらすじ】

死のうと思っている方に読んで欲しい。そして話して欲しい。そんなメッセージ。

生きる理由つていいと、なんかいつもして綺麗なものを求めた
がるけどよお、実際のとこ、生きる理由つてより、死なねえ言い訳
つて考えたほうがよっぽど分かりやすいんだよな。俺が思春期の頃
にやあ、だあれも教えてくれなかつたし、考えても仕方ねえみたい
に、みんな諦めてたんだけどよお、でもそれつてそいつらの想像力
がたんに足りねえだけなんじゃねえの?って思うんだよな。要する
に、考えないつてことはバカだと思うわけよ。なんで?ってそりや、
考えるより実際にやんなきやいけねえことなんてのは山ほどあるだ
らつよ、だけどさ、なんにも考えず、何も感じず、ただ必要とされ
ることをやつてますつて、そりや生きてるつていわねえよ。俺もさ、
この感情とやらを無くして、あいつらみたいに生きてこいつとした
ときもあつたわ。だつて他のやつもみんな、あいつらの側だつた
んだからな。でも俺にやあどうしても無理だつた。心が全身を支配
して、必死に抵抗してゐてえだつた。身体が震えてんのに、自分
の意思じや動かせねえ、そしてバカみてえに涙がこぼれてきやがる
んだ。そりやどうしたつて無理だつてわかるだろ?よ。んでもつて、
どうせあいつらの、みんなの側にいけねえ一人ぼっちなら、と生きて
ゆくことに大きな不安を感じたんだよ。

いや、大きな不安なんてものじやねえな、それはもうとつもな
いもんだったさ。これから進む道は、針のむしろで、靴を脱ぎ、駆
け足で進めつて言われてる氣分だつたね。そんなの今まで耐えて生
きる必要つてどこにあんだつて、全身の毛を逆立たせて叫んださ。
そこで、針の道の田の前で立ち止まって、穴掘つて、そこに逃げ込
んだんだ。しかし、その洞穴がまた小さくて、暗くて、じめじめ
して、ついでに変な生ごみをレンジでチンしたみたいな匂いがして
きてよお、一瞬で、そこに長くこちやいけねえつて思つたさ。けど、

いや穴から出ようとすると、針の道は夏の雑草みてえに、バカみたいにでつかなってて、針の道つてより、針山そのものだったんだ。俺の立場にもなってみるよ？そりや仰天したさ。んで、どうにも出来ずに針山の成長を見守つてるとよお、自分の洞穴の底が盛り上がりってきたんだよ。そん時の俺のあわてふためきようはさぞ滑稽だつたろうよ。でも俺はあまりにも必死だつたんで、そん時のことはあんま憶えてないんだよな。唯一憶えてるのは、底から飛び出した針に向かつて、「おめえなら仕方ねえ」つてつぶやいたことだけさ。なんで、んなこと言つたのかは分かんねえけど、それしか憶えてねえもんで、どうしたものかな。

それでああ、気がついたら俺は消毒液くせえベッドの上だつたつてわけよ。そんでもよお、つまり俺が何をいいてえかつてえと、死ぬことはこえーつてこと。もちろん生きることもつれえし、いてえし、恥ずかしいことばっかだらうよ。けどよお、それを感じることが出来て、意味をつけて、笑い話に変えられるのは、おめえしかいねえわけよ？だからよお、俺に聞かせてくれねえかな。おめえの話を。

(後書き)

話をす。どんなことでもいい。うまく言えなくてもいい。言葉にあることは決して楽なことじゃないかもしない。でも、それでも話をしてもいい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0361w/>

死ぬ前に

2011年10月9日03時55分発行